

宅建「試験・講座の概要等」視聴レポート

校名 池袋校

氏名 冨澤直也

1. 「試験・講座の概要等」の講義で最も印象に残ったことを記述して下さい。

今日の映像で印象に残ったのは「過去問題集の解き方」復習の重要性についての内容です。単に問題を解くだけではなく、問題を解く箇所は必ず解説を読み、正解でもどこがポイントだったかを確認し、さらにテキストに戻って位置づけを理解するという学習のやりかた、合格への鍵であると強調されていました。また「問題を解くのはスタートに過ぎない」という言葉は、学習姿勢の一つとして非常に重要だと感じました。最初は理解できなくて当然であり、だからそ全体に目を通して、どこがわからないのかを把握して講義に臨むことが大切だというアドバイスにも納得しました。講義中は書くことや理解することや優先順位をいうのも、意外と忘れがちで意識する事項だと感じました。宅建試験は単なる暗記ではなく、思考力を問われる試験になっており、難易度も上がっているのだから引き締めが必要だと思えます。

2. 学院生を合格させるための担当者としての決意を記述して下さい。

一番重要なのは初回の講義(特別研修会)と、その後の2週間だと思います。右側の人数が非常に多いのでまずは教室で一体感を作ることがポイントになります。みんなが当たり前に勉強に集中し、競争心を持て、真面目に高得点を狙うような教室の雰囲気作りを心がけて準備することが大事だと思います。優先順位を明確にし、合格への方向路線の例外をあらかじめ厳しく正し、悩んでいる生徒には親身にご相談に乗らせてあげます。その後の復習期間が生徒の信頼を作り上げていくのだと思います。まずは一人一人の対応を午後に振ります。自分ができるところに力を入れていきます。勉強をする為、入塾し、貴重な時間を割いて勉強している受講生が「池袋校に良かった」と思ってくれよう、丁寧なサポートをすることで合格者の向上、月来学院の評判を上げていくのが私の目標で、気を配りながら頑張ります。

学院本部印	事務局長印